

会議録

会議の名称	西東京市文化財保護審議会 平成15年度第5回会議
開催日時	平成16年2月26日(木曜) 午後6時30分から午後8時30分まで
開催場所	田無庁舎1階 102会議室
出席者	委員：高島会長、吉野副会長、石井委員、吉田委員、関根委員、都築委員、保谷委員 事務局：宮寺課長、石崎係長、安達主事、寺畑文化財保護専門員
議題	1 市指定文化財候補について 2 南入経塚について 3 その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西東京市指定文化財候補提案書(写)</li> <li>・ 田無地方史研究会紀要</li> <li>・ 国登録有形文化財申請書(写)</li> <li>・ 下野谷遺跡(西東京市No.7)東伏見六丁目4番・東伏見六丁目4番先地点試掘調査</li> <li>・ 南入経塚の写真(都築委員より)</li> </ul>
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録
会議内容	
<p>発言者名 発言内容</p> <p>高島会長 定足数に達しているため、文化財保護審議会平成15年度第5回会議を開催する。</p> <p>(前回会議録の確認) 前回会議録が原案のとおり確認された。</p> <p>議題1 市指定文化財候補 事務局 昨年12月25日付けで田無神社の賀陽宮司氏から西東京市指定文化財候補提案書が提出された。</p> <p>提案は、野分初稻荷神社本殿は葦山にあったときの旧田無神社の本殿であり、西東京市指定有形文化財の建造物として指定してもらいたいというもの。制作年代が正保三年(1646年)頃のものであろうということと、歴史的に旧田無神社の本殿であったという点から指定を希望しているものである。1646年頃とは、具体的な文書等はなく鑑定結果によるもの。ちなみに市内でもっとも古い神社の建物は、年代が確実なものでは下保谷にある天神社本殿が、19世紀の第1四半期であるので、1646年頃となると圧倒的に古い神社の建物とになる。提案書には「2000年の早稲田大学工学部建築史学科の調査で述べられているように洗礼された絵様や</p>	

軸部に櫓を用いる点など江戸初期の特徴をよく伝えられており、西東京市で最も古い木造建造物であり、類例の少ない貴重な遺構である。また田無、保谷という現在の西東京市の歴史、信仰の形態を知るうえで極めて重要、かつ貴重な建造物といえよう。」という指定すべき理由が記載されている。以上を踏まえ今後どのように調査していくか等を審議願いたい。

石井委員

市の方にも図面はないのか。

事務局

市には図面はない。神社でも図面はないとのこと。

吉田委員

本殿が都の文化財に指定されているが、都の審査を受けたときに野分初稻荷神社本殿についても何かあったか。本殿が指定されたときの過程を調べたほうが良いと思う。

石井委員

基本的に建造物の場合は図面がないと指定できない。写真だけではだめなので図面を提出してもらい西東京市として調査しなければいけない。

事務局

市としては、申請されたものが指定するに値するかの調査を審議会で判断していただきたい。また、有形文化財については予算措置が必要になってくるため、考えていきたい。図面までは考えていなかったが、調査費は来年度に対応できると思う。

石井委員

宮司さんの方で図面を作成するといえば話が早く進むと思う。この野分初稻荷神社本殿は、谷戸から尉殿神社を田無に移したときのもので、尉殿神社の旧社殿ということなのか。

事務局

そのとおり。それから江戸時代に今の本殿を建てたということである。

高島会長

それが事実とすれば、田無の開発に係わる記念的な神社ということになる。

石井委員

17世紀のものなので時代的には文化財としていいものだと思う。

吉野副会長

西東京市文化財指定基準に沿って提案されたものなので、図面がなければそれを補ってもらって提案を受けるということで本日は良いのではないかと。内容的には今後細かく見ていくこととして、提案書を受取る必要があると思う。(了承)

## 議題2 南入経塚の報告

都築委員

1か月くらい前に木が伐採され、祠と2つの石塔があったものの、本日現場に行くと祠と石塔がなくなっていた。

高島会長

元々、経塚には3メートルくらいの巨大題目塔とその脇に2つの小さな石塔があったが、現在は福泉寺に移されている。祠とは石塔のことである。

事務局

経塚は個人の所有で、前回の審議会後に東京都建設局と売買契約が成立し、石造物の移動、周囲の柵の撤去、樹木伐採を3月末日までに完了するよう決まったそうである。

樹木は1月半ば全部伐採されたが、この木は太平洋戦争の頃からのもので経塚との関係性は低い。

石造物に関しては2月16日に移設するという連絡が市にあり専門員が立ち会った。三基のうち小さい二基については根元がコンクリートで固めてあったため、江戸時代には存在していなかった可能性がある。また一番大きい題目塔は地中30センチ位から建てており、周囲の土を掘り返した形跡は見られなかったので、旧来からあった可能性が高い。移設先の福泉寺では、道路計画部分に仮置き場として設置しているとのこと。

都の北多摩南部建設事務所の話では、南入経塚の部分は掘り下げて西武池袋線の下に道路を通すようで、当初は早い時期に調査を進める予定であったものの、3.2.4号線で他に埋蔵文化財に関係している北町の上前遺跡と東伏見の下野谷遺跡、東伏見稲荷神社遺跡の試掘を優先させて全部終了した後に試掘調査を実施するという事に予定変更した模様で具体的な日程等は未定とのこと。

なお、先日南入経塚周辺の住民説明会があり、何とか保存できないかという意見があったと聞いている。

石井委員

都市計画道路関係の試掘箇所は全部で何箇所なのか。

事務局

北町の上前遺跡は1箇所、下野谷遺跡、東伏見稲荷神社遺跡は2箇所合わせて3箇所、経塚を含めれば4箇所になる。

都築委員

以前の会議でこの塚を保存したいということになったが、文化財に指定していないので開発が前提になるということなのか。

私有地につき保存については何とも言えないが、埋蔵物について都に調査を依頼する予定。しかし、法的には強制力はないと思う。

都築委員

指定していないため保存が難しいことは承知しているが、重要なものなのでどうなるかが心配である。

保谷委員

塚のマウンドを取り除いてしまうということなのか。

事務局

そのとおり。

高島会長

この塚は、もともとは下保谷村の共有地で管理も村でしていたようだ。保谷市時代に文化財に指定する動きがあったが、いろいろな問題があり指定していなかった経緯もある。

保谷委員

東京都はこの塚を遺跡として認識しているはずなのに、なぜ柵を撤去してしまうのか。

石井委員

象徴的な塚として江戸時代から現在まで残っているもので、歴史的なことを考えると、絶対に残していかなければいけないと思う。

高島会長

いろいろな工法が進んでいるので、一度マウンドを壊したとしても復元できるのでは。工事完了後巨大題目塔を元に戻すということも可能ではないか。

吉野副会長

我々が言う現状保存とは、道路を曲げてでも保存しろということなのか、場所をずらしても保存するのか、土地が削られてもそのまま保存しろということなのか、を明確にしておくべきと思う。審議会としては、とにかく要望すべきで、試掘についても最大の要望を出していくことが必要だと思う。また、道路が出来た後にどのように保存するか具体的に考えていくことも。

石井委員

掘っても何も出ないと思うので、手をつけないことが一番良い。

高島会長

詳細なものがないが、土地の東側3分の1が道路になるようで、現状のままだと歩道等が塚にかかってしまう。

保谷委員

かなり大規模な歩道を設置し、それが塚にかかるから全部撤去してしまうということなのか。

高島会長

函面ではそのような考えのようだ。

保谷委員

その部分については、東京都に強く要望すればまだ変更の可能性はあるのではないか？

傍聴者（会長より傍聴者に説明を求める）

先ほど話に出ていた開発道路の住民説明会というのは、北多摩南部建設事務所が主催する環境施設帯懇談会であり、今年度10回程度で結論を出そうとしている懇談会の第2回目のことである。この懇談会での説明によると、道路幅員が36メートルだが、本線が4車線16メートル、両側に10メートルずつ騒音や振動を緩和するための歩道・植栽による環境施設帯を設置するという計画のようだ。池袋線をトンネルで通過するが、16メートルの4車線が通るもので、経塚部分は環境施設帯でありトンネルには入らない。

現在ある踏切と交差する南北道路が、環境施設帯にかかっていて、踏切を閉鎖しようとする計画があるので、踏切をそのままにして道路を残せば、経塚を削らなくてもいいという可能

性がある。踏切を閉鎖することについて地域住民の多くが反対して、生活道路を残してもらいたいということになれば、経塚が残せるのではないかと思う。

石井委員

審議会として正式に意見書や要望書を東京都に出す必要があると思う。

吉野副会長

都としては、地元の意見や要望を聞いて環境保全していくと考えているのだから、それに合わせて審議会として要望していけば良い。できれば市も説明会に参加するなどして、このような審議会の経過や意見があるということ、東京都に働きかけていただきたいと思う。

事務局

関係部署と建設事務所に働きかけていくように考えていきたい。

都築委員

要望書を作成するのであれば、審議会にも見せていただきたいということと、計画図面と現状図面を重ね合わせて、実際に経塚のどこの部分が削られるかということがわかるものを作成していただきたい。

事務局

計画道路に関する2500分の1の図面をもらっているので、報告書の図面の縮尺を同じにすれば作成できると思う。ちなみに、都の文化財の担当としては経塚に関しては、特に保存する考えがないということで、都全体を見た場合は、このような塚はいくつもあるので現状保存する考えはないそうである。

高島会長

以上で本日の会議を終了する。